

令和 8 年度

総 合 型 選 抜

( 帰 国 子 女 対 象 )

学 生 募 集 要 項



本学では、インターネット出願を導入しています。  
冊子による学生募集要項の配付は行いませんので、本学入試情報特設 Web サイト  
(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/>) から閲覧またはダウンロードしてください。

令和 8 年 4 月入学者用の学生募集要項です。

愛知教育大学

# 目 次

アドミッション・ポリシー	1
入学者選抜日程の概要	2
1. 趣旨	3
2. 募集人員	3
3. 各課程・専攻・専修・コースが望む学生像	4
4. 出願資格・出願要件	7
5. インターネット出願登録及び出願期間	7
6. 出願手続	8
7. 受験票及び受験案内のダウンロード、印刷	11
8. 入学者選抜方法	11
9. 志望の方法	14
10. 障害のある入学志願者との事前相談	14
11. 受験に関する注意	15
12. 免許教科の決定について	15
13. 合格者発表	16
14. 入学手続	16
15. 学生寮への入寮について	17
16. 入学手続辞退	17
17. 不合格者の再出願	17
18. 教育・学習データ利活用について	17
19. 個人情報の取り扱いについて	17
20. 入学試験個人成績の開示	17
21. 安全保障輸出管理について	18
◆愛知教育大学へのアクセス	19

## アドミッション・ポリシー

愛知教育大学は、広域の拠点的役割をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

学校教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成を目的としています。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識と技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成を目的としています。

そこで、次のような人を求めています。

- ◎子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- ◎確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに関心を持つ人
- ◎創造力や探究心を持つ人
- ◎多様な考えや価値観を持つ人を認め、自らの考えを表現しながら協働できる人
- ◎学校と地域社会との関わりに関心があり、地域の活動に参加することができる人

### (入学者選抜の基本方針)

諸外国で多様な文化に接し、それぞれに歴史と伝統を有する社会で教育を受け、学校教育に教員または教育支援専門職として携わる意欲を持つ者を対象に、一般の入学者選抜方法とは別に小論文、面接、学力検査（実技検査を含む）によって総合的に評価します。

### 本学への入学前に学習しておくことが期待される内容

本学では、学校教員や教育支援専門職の養成にあたり幅広い教養と基礎学力等を身に付けていることを求めています。そのため、本学に入学するまでに学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- ① 高等学校段階までの教育課程における基礎的・基本的な知識・技能と思考力
- ② 自らが専攻しようとする教科等に関わる基本的内容
- ③ 上記①②を通して、多面的・多角的なものごとをとらえ、論理的に思考・判断できるように幅広く学びを深め、探究する態度

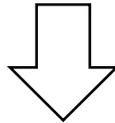
なお、将来、学校教育に教員または教育支援専門職として携わることを望む者として、高等学校段階での教育課程による学びだけでなく、自ら子どもとの交流経験を求めたり、学校教育及び教育に関わる諸問題への関心を深めたりするための主体的な学びや活動を通して、多様な価値観や考えを持つ人々とコミュニケーションする力や、自らの考えを深めてそれを表現する力を身に付けておくことを望みます。

令和8年度 総合型選抜（帰国子女対象）

## 入学者選抜日程の概要

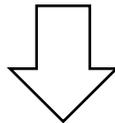
インターネット出願システムでの出願登録期間

令和7年9月5日（金）～9月17日（水）



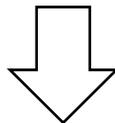
出 願 期 間

令和7年9月12日（金）～9月18日（木）



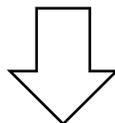
試 験 期 日

令和7年10月25日（土）



合 格 発 表

令和7年11月14日（金）



入 学 手 続

令和7年12月4日（木）～5日（金）

## 1. 趣旨

近年、我が国の政治・経済・文化・技術その他あらゆる方面にわたる国際的活動の拡大に伴い、海外に在留する者及びその家族が飛躍的に増加し、外国の教育機関で学校教育を受ける日本人子女が多くなっています。この傾向は、なお一層加速されるものと考えられます。

こうした状況を踏まえ、大学教育も国際化をはかる必要があります。そのためには、諸外国で多様な文化に接し、それぞれに歴史と伝統を有する社会で教育を受けた者を、一般の入学者選抜方法とは別の選抜を行い、国際的に活躍しうる有為な人材を養成することが適当と考えられます。

よって、本学では、いわゆる帰国子女のための総合型選抜を下表のとおり実施します。

## 2. 募集人員

課程・専攻・専修・コース			募 集	募 集 人 数	
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻		×	若 干 名	
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修	○		
		生 活 ・ 総 合 専 修	○		
		ICT 活 用 支 援 専 修	○		
		日 本 語 支 援 専 修	○		
		教 科 指 導 系	国 語 専 修		○
			社 会 専 修		○
			算 数 ・ 数 学 専 修		○
			理 科 専 修		○
			音 楽 専 修		○
			図 画 工 作 ・ 美 術 専 修		○
			保 健 体 育 専 修		○
			も の づ く り ・ 技 術 専 修		○
			家 庭 専 修		○
	英 語 専 修	○			
	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	国 語 ・ 書 道 専 修		○
			地 歴 ・ 公 民 専 修		○
			数 学 専 修		○
			理 科 専 修		○
			英 語 専 修		○
特 別 支 援 教 育 専 攻			×		
養 護 教 育 専 攻			○		
養 成 課 程	専 門 職 教 育 支 援	心 理 コ ー ス	○		
		福 祉 コ ー ス	○		
		教 育 ガ バ ナ ンス コ ー ス	○		

(注) ア. 表中の○印は募集する専攻・専修・コースを示します。

イ. 本学における教育は一般選抜により入学した者と同じです。

ウ. 授業は日本語で行われます。

### 3. 各課程・専攻・専修・コースが望む学生像

アドミッション・ポリシーをふまえ、各課程・専攻・専修・コースでは、次のような学生の入学を望みます。

学 校 教 員 養 成 課 程	義 務 教 育 専 攻	学校 教育 科学 専 修	実践的指導力を有する教員の養成を目的に、教育学、キャリア教育学や教育心理学などの教育諸科学に関する専門的知識に関心をもつとともに、「ものごとを多角的に理解し、多様性を尊重する力」「他者と協働し、課題に取り組む力」「答えない課題に対しても、情報を収集しながら意欲的に取り組む力」を有する者を望みます。
		生活・総合専修	児童・生徒の興味・関心に目を向け、それらを教材として組み立てるために必要な子ども理解の視点や専門的知識に関心をもつとともに、体験から生まれる学びを価値づけたり、地域の題材から課題を設定し解決をしていく探究のプロセスの構想、そこにもとづく指導計画を立案したりすることに意欲的な者を望みます。
		ICT 活用 支援 専 修	ICT や ICT を活用した教育に興味関心があり、物事を論理的に考えることができ、ICT を使って問題を解決したり物事を効率的に進めることに意欲をもつとともに、将来、情報モラル育成のための専門的知識や ICT を積極的にかつ有効的に教育に活用できる技術を身につけたいと考えており、卒業後は、学校で ICT の活用やプログラミングを教えたり、学校全体の情報化に中心的に貢献することを希望している者を望みます。
		日 本 語 支 援 専 修	言語文化背景が異なる子どもたちをめぐる諸問題に関心があり、その子どもたちを支援するために必要な専門的知識を積極的に得ようとするとともに、特に、子どもの多様性を認める力や問題解決力、協働の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。 注意：日本語支援専修は、日本語教育を学ぶだけでなく、日本の義務教育（小中学校）の教員としての専門的知識・技能を習得することが目的です。「小学校教諭二種」「中学校教諭二種」という教員免許状を取得することが、卒業するために必要です。
	教 科 指 導 系	国 語 専 修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。
		社 会 専 修	社会科や社会科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもち、特に、社会的な諸事象を読み解く力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を育むことに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。
		算数・数学専修	算数・数学科およびその関連諸学科とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心をもち、高等学校「数学III」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な考え方・表現力等を身につけることに意欲的な者を望みます。算数・数学をよりわかりやすく教えたり、そのおもしろさや有用性を伝えられる教員をめざして、努力しようと志す者を望みます。
		理 科 専 修	児童の身のまわりのものや現象に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、自然への敬愛や科学技術の素晴らしさを具体的に分かりやすく教えたり、その意義や有用性を伝えたりできる教員をめざして、努力しようと志している者を望みます。

学校 教員 養成 課程	義務 教育 専攻	教科 指導 系	音楽専修	児童生徒をとりまく音や音楽、および音楽表現に興味関心を持ち、本学入学以前には、基礎的な音楽技能を身につけ、さらに教科書に記載された基礎的な音楽理論や音楽史に関する事項を学習しておくことを期待します。入学後は、音楽に関する創造力と構成力、答えのない問題に解を見出していく力、および音楽表現に必要な技能などを身につけたいと考える者で、将来、教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志をもつ者を望みます。
			図画工作・美術専修	美術鑑賞や制作活動などに興味関心を持ち、本学入学以前に観察力や基礎的な描写力などを十分にもっていることを期待します。入学後は、美術に関する創造力と構想力、表現に必要な技能などを身につけることに意欲的で、図画工作・美術教育を通して感性や想像力を育み、生活や社会の中の美術や文化と豊かに関わる子どもの育成に意欲のある者を望みます。
			保健体育専修	スポーツに親しみを持ち、スポーツ実践を介した豊かな経験を有し、かつ健康に関する内容に興味関心がある者を望みます。また、人と広く交流し、コミュニケーションをとることができる資質や能力を有し、子どもに愛情をもって寄り添い、支え続け、子どもの成長にかかわる教員になろうとする強い意欲をもって、保健体育に関する学びを深め、探究しようとする者を望みます。
			ものづくり・技術専修	ものづくりが好きで、科学技術や技術教育に関わる諸問題などに興味関心を持ち、科学技術に関する高校までの基礎的な数理的知識をもって受験することを期待します。入学後は、幅広い工学（木工・金工・電気・機械・情報）および農学の知識と技能を身につけて、将来教育現場において、これらの能力を生かそうとする者を望みます。
			家庭専修	生活に関わる諸問題などに興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、人間の生活とその教育について深く洞察する力、客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけ、将来教員としてそれらを生かしていこうとする強い意志と意欲をもつ者を望みます。
			英語専修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	高等 学校 教育 専攻	教科 学 習 開 発 系	国語・書道専修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			地歴・公民専修	地歴科や公民科を核とした関連諸分野に深い関心を持ち、特に、資料や情報の読解力や分析力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を身につけることに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			数学専修	数学や数理科学全般、さらには、それらの学習を通じた生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心を持ち、高等学校「数学Ⅲ」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な思考力・表現力等の数理リテラシーを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。

学校 教員 養成 課程	高等 学校 教育 専攻	教 科 学 習 開 発 系	理 科 専 修	理科や理科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的にものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			英 語 専 修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通じた生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門のおよび実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
	養 護 教 育 専 攻		学校の保健管理や保健教育、子どものからだところの健康問題に興味関心があり、それらの教育に携わるために求められる専門的知識に関心をもつ者を望みます。特に、専門科目を学ぶために必要な理数系科目を深く洞察する科学的探究心を育み、分析的思考力やコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
教育 支援 専門 職 養成 課程	心 理 コ ー ス		子どもの心や行動のプロセスを理解し、子どもの健全な発達を支援し、家庭・学校・地域と連携し、子どもの安全な生活を支援する、心理学の基礎知識に加え、心理臨床やカウンセリングの技能を身につけた、公認心理師等の心理の専門職の養成をめざしています。そのために、教育・心理学に興味・関心をもち、スクールカウンセラー等の教育支援者として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	福 祉 コ ー ス		子どもやその家庭をとりまくさまざまな課題に対する相談援助・生活支援を担う高度な知識・技術を身につけた、スクールソーシャルワーカーをはじめとする福祉の専門職の養成をめざしています。そのために、教育・福祉に興味・関心をもち、学校や地域と連携しながら子どもの健やかな未来を支援する教育支援者、福祉専門職として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	教育ガバナンスコース		学校をはじめとする教育事務の調整、戦略的企画の立案、管理事務に対応できる資質・能力を備え、学校や教育にかかわる業務を専門的見地から支援し、情報活用能力や多文化への理解力を身につけた、学校や教育機関で活躍できる教育事務職員の養成をめざしています。そのために、教育・法律・行政・情報・多文化理解に興味・関心をもち、教育支援者として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	

## 4. 出願資格・出願要件

日本国籍を持つ者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等に同伴して海外に在住（保護者帰国後1年未満の滞在は可）し、外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者

### (1) 基礎資格

次のいずれかに該当する者

ア. 学校教育における12年の課程を卒業（修了）した者及び令和8年3月31日卒業（修了）見込みの者

イ. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベル、国際A レベル、欧州バカロレア資格を保有する者

ウ. 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者

### (2) 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

ア. 令和8年4月1日において基礎資格取得後2年以内であること。

（令和6年4月1日から令和8年3月31日までの間に取得していること。）

イ. 12年の課程には日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。

（外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。）

ウ. 合格した場合、必ず入学することを確約できる者であること。

## 5. インターネット出願登録及び出願期間

出願手続きは、①インターネット出願登録→②検定料の支払い→③写真のアップロード→④出願書類の提出（簡易書留速達）により、完了します。

【インターネット出願登録及び入学検定料支払期間】は以下のとおりです。（出願受付期間前から出願情報の登録及び検定料の支払いは可能です。）

【インターネット出願登録期間】 令和7年9月5日（金）9時 から 9月17日（水）17時00分まで  
【入学検定料支払い期間】 令和7年9月5日（金）9時 から 9月17日（水）23時59分まで

出願情報の登録後に入学検定料17,000円（別途、支払手数料700円）を支払うことになるので、余裕をもった出願を心がけてください。

なお、検定料の支払い後は、登録内容の変更はできませんので、注意してください。

また、大規模な災害により災害救助法適用地域において被災又は避難されている学資負担者又は志願者は、入学検定料が免除になることがありますので、入学検定料を支払う前の出願開始日1週間前までに本学入試情報特設 Web サイト「入学検定料の免除について」（<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/student-life/support.html>）を確認の上、申請してください。

インターネット出願登録は、下記のURLから利用できます。

URL <https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/internet.html>

### ■インターネット出願の操作に関するお問い合わせ

志願受付操作サポート窓口 TEL 0120-752-257

### ■入学試験に関する問い合わせ

愛知教育大学入試課学部入試係 TEL 0566-26-2202

「出願期間」は下記のとおりです。

●**令和7年9月12日（金）～9月18日（木）※出願は郵送に限る。**

（9月18日（木）17時までに本学入試課に必着のこと）

詳細は、次頁の「6. 出願手続」を参照してください。

## 6. 出願手続

入学志願者は、次の(1)～(3)を十分確認し、検定料の支払い、必要書類の郵送に時間がかかることを考慮の上、余裕をもって手続きを行ってください。

### (1) インターネットを利用した出願情報の登録及び検定料の支払いについて

- ① インターネットを利用した出願情報の登録及び検定料 17,000 円（別途、支払手数料 700 円）の支払いが必要となります。
- ② 出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等
  - ア. 受験者本人の顔写真データ：正面、上半身、無帽のもので出願前 3 か月以内に撮影した写真の画像データを準備してください。
  - イ. 電子メールアドレス：電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。
  - ウ. プリンタ、印刷用紙：A 4 サイズの用紙が印刷出来るプリンタ（カラー印刷）が必要です。

### (2) 出願書類

インターネットを利用した出願情報の登録後、次の書類を整え、市販の角形 2 号封筒を用い、封筒表面に以下の表の②宛名ラベルを貼付し、「簡易書留速達」で本学入試課へ郵送してください。受理した出願書類は返還しません。

#### 【郵送先】〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学入試課

インターネット印刷物	① 出願確認票（提出用）	インターネット出願登録後、印刷したもの（カラー印刷）
	② 宛名ラベル及び出願書類チェックリスト	インターネット出願登録後、印刷したもの（カラー印刷）を出願書類提出用封筒の表面及び裏面に貼付してください。
本学 Web サイトから所定様式をダウンロード	③ 身上記録	黒のペン又はボールペンを用いて記入してください。
	④ 推薦書※	卒業した学校の学校長もしくは指導教員等が作成してください。（様式は任意のものでも構いません。）
	⑤ 音楽実技内容届	音楽専修志願者は必ず提出してください。
	⑥ 健康診断書「負荷心電図の所見」	保健体育専修志願者は必ず提出してください。（注）出願前 3 か月以内に作成したもので、医師が診断・証明したものを提出。
その他必要書類	⑦ 高等学校の卒業（修了）証明書又は同見込証明書※	高等学校の卒業（修了）証明書又は同見込証明書の原本を提出してください。（注）卒業証書の写は不可としますので注意してください。
	⑧ 成績証明書等※	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校又は中等教育学校の成績証明書（出身学校長の作成したもの） ただし、成績証明書記載事項のうち科目名・成績評価等が符号又は略字により表示されている場合には必ずその説明を付してください。</li> <li>2. 国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア資格証書の写及び最終成績 6 科目の成績評価証明書</li> <li>3. アビトゥア資格を取得した者は、大学入学資格証明書の写及び最終試験 4 科目の成績証明書</li> <li>4. バカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書の写及びバカロレア資格試験成績証明書</li> <li>5. GCEA レベル資格を取得した者は、GCEA レベル資格証明書の写及び成績証明書</li> <li>6. 国際 A レベルを取得した者は、国際 A レベル資格証書の写及び成績証明書</li> <li>7. 欧州バカロレア資格を取得した者は、欧州バカロレア資格証明書の写及び成績証明書</li> <li>8. 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者は、最</li> </ol>

		<p>終学校の成績証明書，修了証明書又は修了見込証明書及び当該教育施設が上記の団体から認定を受けていることが確認できる書類</p> <p>9. 日本国の高等学校又は中等教育学校に在学したことがある者は，その学校長の作成した成績証明書(又は調査書)をあわせて提出してください。</p> <p>10. 当該国の認定試験に合格した者は，その合格証明書及び成績証明書</p> <p>11. 日本の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了及び修了見込みの者は，その課程の修了証明書又は修了見込証明書</p>
	<p>⑨保護者の海外在留証明書※</p>	<p>保護者の所属する機関の長又は在外公館による証明書を提出してください。出願者の氏名及び保護者と出願者との続柄が表記されたものに限りますが，在留者との関係が明記されている公的書類の写し(戸籍抄本等)を添付することも可能です。</p>

※証明書等で，外国語で作成されたものについては**日本語訳**を添付すること。

(3) 注意事項

- ・ 出願書類の氏名は，通称・略字等を使用せず，必ず戸籍簿（日本の永住許可を得ている外国人の場合は在留カードまたは特別永住者証明書）どおりに記入してください。
- ・ インターネット出願登録後は，出願事項の変更は認めません。また，いったん受理した出願書類は返還しません。
- ・ 提出書類に記載事項の記入もれやその他の不備がある場合は，出願書類を受理しません。
- ・ 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては，入学後でも入学を取り消す場合があります。
- ・ インターネット出願登録時に発行される「セキュリティコード」について，セキュリティ上，問合せにはお答えできません。
- ・ 払い込まれた検定料は次の場合を除き返還しません。

- ①.出願書類を提出しなかった場合（返還額：振込手数料を差引いた額）
- ②.検定料を誤って二重に払い込んだ場合（返還額：振込手数料を差引いた額）
- ③.出願書類等に不備があり，受理されなかった場合（返還額：振込手数料を差引いた額）

\* 検定料の返還請求方法

志願者の申し出により返還しますので，次の（ア），（イ）の書類を郵送してください。

（令和7年11月11日（火）まで）

（ア）入学検定料の支払いを証明する書類（領収書等）

（イ）「入学検定料返還請求書」（便せん等に次の1～7を明記してください。）

- 1 返還請求の理由
- 2 試験区分（総合型選抜（帰国子女対象））
- 3 氏名（フリガナ）
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求額（17,000円）※成績の開示請求（17ページ参照）をした場合は17,600円
- 7 返還金振込先
  - 1)金融機関名（可能な限り，郵便局・ゆうちょ銀行以外の金融機関）
  - 2)支店名
  - 3)預金種別(当座・普通)
  - 4)口座番号
  - 5)口座名義人（フリガナ）
  - 6)口座名義人が志願者と異なる場合は，志願者との続柄

【郵送先】 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課 TEL0566-26-2202

返還時期は，令和7年12月末（請求時期により異なります。）までを予定しております。

**【インターネットを利用した出願の手順】**

①入試制度の確認	本学 Web サイトから「募集要項」をダウンロードし、出願資格・入学者選抜方法・出願期間等を確認する。
②出願情報の登録 (注1)	インターネットに接続しているパソコン等から、画面の指示に従って登録内容を入力する。
③出願情報の確認	登録した情報を確認する。(確認用の用紙を印刷する。)
④支払い方法の選択	検定料の支払い方法を選択する。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・銀行 ATM (ペイジー) ・ネットバンキング・PayPay (ペイペイ)
⑤検定料の支払い	選択した方法に従って検定料を支払う。
⑥証明写真の アップロード	⑤検定料の支払い後に送信される入金確認メールに記載される URL から、インターネット出願登録システムへ再度ログインし、志願者本人の写真をアップロードする。
⑦出願登録内容の印刷	出願確認票等を印刷する。
⑧出願書類の郵送 (注2)	⑦の出願登録内容の印刷物等を 8 ページ「(2) 出願書類」のとおり本学入試課へ郵送し、出願が完了。

(注1) インターネット出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等

ア 受験者本人の顔写真データ：正面，上半身，無帽のもので出願前3か月以内に撮影した写真の画像データを準備してください。

イ 電子メールアドレス：電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。「成績開示」等で必要になる場合もありますので、令和7年度以降も受信できるアドレスで登録してください。

ウ プリンタ，印刷用紙：A4 サイズの用紙が印刷できるプリンタ（カラー印刷）が必要です。

エ 試験成績開示請求について、希望しない場合は、「希望する」から「希望しない」に選択してください。

(注2) インターネットを利用した出願情報の登録だけでは、出願手続きは完了しません。出願期間内に、出願確認票等を郵送・提出することで手続きは完了します。

(注3) インターネットを利用した出願情報の登録のパソコン推奨環境及びモバイル端末推奨環境は以下のとおりです。

① パソコン推奨環境  
ブラウザバージョン

Windows 環境の場合	Mac 環境の場合
Google Chrome Microsoft Edge	Safari Google Chrome

PDF 閲覧ソフトバージョン

Windows 環境の場合	Mac 環境の場合
Adobe Acrobat Reader DC ※Windows 8.1, Windows 10 の「リーダー」は推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。	Adobe Acrobat Reader DC ※macOS のプレビューは推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。

② モバイル端末推奨環境

※下記は推奨環境ですが、お使いの環境によっては一部機能が動作しないことがあります。その場合はパソコンをご使用ください。

Android 環境の場合	iOS 環境の場合
Android 10.X.X 以降 Android Chrome	iOS 14.X.X 以降 Safari

## 7. 受験票及び受験案内のダウンロード，印刷

受験票及び受験案内は，令和7年10月20日（月）頃からダウンロード及び印刷が可能となります。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロード及びカラー印刷し，試験当日に持参してください。

また，受験上の注意事項（集合時間や場所等）に関する「受験案内」を受験票に記載のURLから必ず確認してください。

## 8. 入学者選抜方法

### (1) 入学者選抜

1)選抜は，専攻・専修・コースが定める次の選考要件に，出願書類を総合して行います。

2)最低基準点は，各配点の3分の1及び総点の2分の1とし，これに満たない場合は不合格とします。

3)2)で不合格となった者を除き，専攻・専修・コース毎に総点の高得点順位の者から合格者とします。

課程・専攻・専修・コース			選考要件（配点）					
			小論文	面接	学力検査	実技検査	総点	
学校 教員 養成 課程	義務 教育 専攻	学校教育科学専修	400	100	—	—	500	
		生活・総合専修	400	100	—	—	500	
		ICT活用支援専修	400	100	300	—	800	
		日本語支援専修	400	100	300	—	800	
	教科 指導 系	国語専修	400	100	—	—	500	
		社会専修	400	100	—	—	500	
		算数・数学専修	400	100	300	—	800	
		理科専修	400	100	—	—	500	
		音楽専修	400	100	—	300	800	
		図画工作・美術専修	400	100	—	300	800	
		保健体育専修	400	100	—	300	800	
		ものづくり・技術専修	400	100	—	—	500	
		家庭専修	400	100	—	—	500	
		英語専修	400	100	300	—	800	
	高等 学校 教育 専攻	教科 学 習 開 発 系	国語・書道専修	400	100	—	—	500
			地歴・公民専修	400	100	—	—	500
			数学専修	400	100	300	—	800
			理科専修	400	100	—	—	500
			英語専修	400	100	300	—	800
	養護教育専攻		—	100	300	—	400	
養成 課程 専 門 職 業 支 援	心理コース	400	100	—	—	500		
	福祉コース	400	100	—	—	500		
	教育ガバナンスコース	400	100	—	—	500		

(2) 選考要件

1) 小論文（日本語）

学校教員養成課程養護教育専攻を除いて全員受験してください。  
内容は志願する専攻・専修・コースに関するものです。

2) 面接（日本語）

全員受験してください。  
内容は志願する専攻・専修・コースに関するものです。

※学校教員養成課程義務教育専攻教科指導系英語専修と学校教員養成課程高等学校教育専攻教科学習開発系英語専修の志願者は**日本語と英語で面接を行います。**

3) 学力検査

学力検査を課す専攻・専修・コース及び試験科目は、次のとおりです。  
なお、学力検査の出題科目は、平成30年3月告示高等学校学習指導要領に対応した9科目とします。

- a. 学校教員養成課程 義務教育専攻 ICT活用支援専修  
学校教員養成課程 義務教育専攻 教科指導系 算数・数学専修  
学校教員養成課程 高等学校教育専攻 教科学習開発系 数学専修

数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A（場合の数と確率，図形の性質），数学B（数列），  
数学C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）

- b. 学校教員養成課程 義務教育専攻 日本語支援専修  
学校教員養成課程 義務教育専攻 教科指導系 英語専修  
学校教員養成課程 高等学校教育専攻 教科学習開発系 英語専修

英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，  
論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ

- d. 学校教員養成課程 養護教育専攻

保 健

#### 4) 実 技 検 査

学校教員養成課程義務教育専攻教科指導系音楽専修， 図画工作・美術専修， 保健体育専修の志願者は受験してください。

##### a. 音楽専修の実技検査の内容は，次のとおりです。

次のA， Bから一つを選択し， I， IIともに受験すること。

##### A. ピアノを選択する者

I. 任意の一曲（くり返しは無し）

II. 声楽実技・・・任意の一曲

##### B. 声楽を選択する者

I. 任意の一曲

II. ピアノ実技・・・任意の一曲

※上記A， Bについて，受験するものをあらかじめ選択し，演奏する曲の作曲者名，曲名を届け出ること。

##### 【備 考】

①いずれも暗譜演奏のこと。

②声楽においては，原語で歌うこと。なお，出願書類と共に楽譜（伴奏付）を提出すること。

##### b. 図画工作・美術専修の実技検査の内容については，次のとおりです。

美術の実技に関する以下の設問について，観察力，基礎的な描写力を総合的にみます。

鉛筆デッサン（2時間）

「与えられたモチーフを持つ手」をケント紙に描いてください。

※鉛筆（2B），消しゴム等，使用する用具はすべて本学で用意します。

※持参する用具はなく，本学で配付する用具以外のものは使用できません。

##### c. 保健体育専修の実技検査の内容は，次のとおりです。

次の種目のうち1種目を選択し，実技を行い，運動技能と運動能力について検査します。

① 陸上競技                      ② 器械運動                      ③ 水 泳（競泳）

④ バスケットボール              ⑤ バレーボール                  ⑥ サッカー

⑦ ハンドボール                  ⑧ ダンス（創作ダンス）

※受験する種目については，あらかじめ届け出ること。

詳細については，受験案内にて発表します。

##### 【備 考】

受験にあたっては，選択した種目に必要な服装・用具（シューズ・スパイク類等）を各自持参すること（なお，陸上競技でスパイクを使用する場合は，全天候走路用ピンとすること）。

雨天の場合は体育館用のシューズを用意すること。

万一の事故に備え，保険証等を持参してください。

(3) 試験期日及び時間割

期 日	教 科	時 間	
令和 7 年 10 月 25 日 (土)	小論文	10 : 30~12 : 00	
	学力検査	ICT 活用支援専修	13 : 00~14 : 00
		日本語支援専修	
		算数・数学専修 (義務)	
		英語専修 (義務)	
		数学専修 (高校)	
		英語専修 (高校)	
		養護教育専攻	
	実技検査	音楽専修	13 : 00~
		図画工作・美術専修	
		保健体育専修	
	面接	学力検査及び実技検査を課さない専攻・専修・コース	13 : 00~
		学力検査を課す専攻・専修	14 : 00~
実技検査を課す専修		実技検査終了後~	

(4) 試験場所 愛知教育大学

## 9. 志望の方法

本学では「2. 募集人員」に示すような専攻・専修・コースに分かれているので、出願の際には、3 ページ表により志望する専攻・専修・コースを選択しなければなりません。

## 10. 障害のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、相談締切日までに必ず本学と相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

相談内容によっては、対応に時間を要することもありますので出願前の早い時期に申し出てください。この事前相談により、合否判定の際に不利になることはありません。

- (1) 相談締切日 令和7年9月5日(金)
- (2) 相談申込み方法  
「入学試験受験上の配慮申請書」により申込みしてください。  
(本学指定様式によるものとします。様式については、下記問い合わせ先に連絡の上、請求してください。)
- (3) 提出書類  
ア 入学試験受験上の配慮申請書(本学指定様式)  
イ 医師の診断書(コピー可)
- (4) 問い合わせ先  
愛知教育大学 入試課 (TEL 0566-26-2202)

## 11. 受験に関する注意

- (1) 試験当日は、インターネット出願登録サイトからカラー印刷した受験票を持参し、受験中は机上右上に置いてください。
- (2) 受験票は、受験後も紛失したりしないよう大切に保管してください。
- (3) 試験開始10分前までに試験室に集合してください。
- (4) 外国に居住する者であっても、可能な限り日本国内の知人等の住所を連絡先としてください。

## 12. 免許教科の決定について

義務教育専攻学校教育科学専修、生活・総合専修、ICT活用支援専修、日本語支援専修及び特別支援教育専攻においては、1つの教科の中学校教員免許状(二種もしくは一種)を取得することができます。この教科を「免許教科」と呼び、入学前に希望教科を選択していただく必要があります。

なお、免許教科は、入学手続き時に行う意向調査に基づき、大学が決定します。できる限り希望に添うように各教科への割り振りを行いますが、特定の教科に希望が集中することなどにより、必ずしも第1希望の教科を履修できない場合も考えられることをご承知おきください。

また、免許教科の決定後は、いかなる理由があっても、変更は一切認められません。

決定した免許教科の専門教育科目の授業では、当該教科について知識や技能の高い専攻学生とともに学ぶことになることから、入学手続き時の意向調査の際には、各免許教科に関する学修に当たっての要望やアドバイスを提示しますので、慎重に免許教科を選択することを求めます。

以下の本学 Web サイトにおいて、「免許教科選択に当たっての留意点」を掲載していますので併せて確認してください。

愛知教育大学 Web サイト HOME > 学部・大学院 > 免許教科

[https://www.aichi-edu.ac.jp/edu/gakubu/license\\_subject.htm](https://www.aichi-edu.ac.jp/edu/gakubu/license_subject.htm)

免許教科 専攻・専修		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	家庭	英語
		義務教育	○	○※	○	○	○	○	○	○	○
専攻	学校教育科学専修	○	○※	○	○※	○	○	○	○※	○※	○
	生活・総合専修	○	○	○※	○※	○	○	○	○※	○	○
	ICT活用支援専修	○									○
	日本語支援専修	○									○
特別支援教育専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※専修として選択を薦める教科

### 13. 合格者発表

令和7年11月14日（金）

合格者の受験番号を当日10：00以降、本学Webサイトに掲載します。合格者には出願登録した連絡先に通知します。（本学入試情報特設Webサイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/>）

ただし、Webサイトでの発表は参考として閲覧のうえ、必ず郵送による合格通知書で確認してください。

なお、合否について、電話その他による問い合わせには一切応じません。

### 14. 入学手続

入学手続は下記の日時・場所で行いますが、郵送する場合は、令和7年12月4日（木）までに「書留郵便」で学生支援課に必着となるよう送付してください。入学手続の詳細は、合格者に郵送する「入学手続要項」をご覧ください。

#### (1) 日時・場所

日 時		場 所
令和7年12月4日（木）	9:00 ～ 12:00	愛知教育大学
令和7年12月5日（金）	13:00 ～ 16:00	

（注）入学時期 令和8年4月

**なお、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。**

#### (2) 入学金等納入金

入 学 料	282,000 円
入学時諸費用（※）	54,660 円
授 業 料 前期分	267,900 円
後期分	267,900 円

※入学時諸費用は、通学中や教育実習などの活動中の事故等に係る保険料（4年間分）、教育研究経費、大学行事、就職、課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で、入学時のみの費用です。

- ・ 納入金については、**合格者あてに送付する「入学手続要項」**にて詳細を案内します。
- ・ なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学金、新入学時諸費用及び新授業料を適用します。

（注）① 入学金及び入学時諸費用は、大学指定の払込書を使用し、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口（ATM不可）にて、必ず入学手続の前に納入してください。

② 授業料は、入学手続要項において納入方法を指示します。

また、本学では、すべての学部学生に「教材用パソコン（インターネットに接続できるノートパソコン）」を用意していただくことになっていきますのでご承知おきください。教材用パソコンの詳細については入学手続後にお知らせします。（本学生協で教材用パソコンに適したものを販売していますが、仕様を満たすものであれば、他の市販のパソコンや既存のパソコンをお持ちいただくことも出来ます。

#### (3) 留意事項

- ・ 入学手続完了後に本学への入学を辞退する場合、納入済の入学金はいかなる理由があっても返還いたしません。
- ・ 免除又は徴収猶予申請者が入学手続完了（免除等申請）後に入学を辞退した場合は、「免除等申請を辞退」したものととなりますので、直ちに入学金を納入していただきます。
- ・ 入学金・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学Webサイトを参照してください。

[https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/menjo\\_nyugaku.html](https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/menjo_nyugaku.html)

入学手続に関するお問い合わせ先	学生支援課 TEL 0566-26-2173
-----------------	------------------------

## 15. 学生寮への入寮について

学生寮への入寮を希望する者は、合格者に郵送する入学手続要項に同封の申請書類又は大学 Web サイト(<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/dormitory.html>)の入寮申請案内からダウンロードした申請書類により申込みを行ってください。

学生寮についての詳細は、大学 Web サイトを参照してください。

学生寮に関するお問い合わせ先	学生支援課 学生寮担当 TEL 0566-26-2186
----------------	------------------------------

## 16. 入学手続辞退

総合型選抜の合格者は、原則として入学を辞退することは出来ません。しかしながら、やむを得ず本学への入学を辞退する場合、理由を付した「入学辞退願」（任意様式）を令和 7 年 12 月 5 日（金）16 時までに提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。

## 17. 不合格者の再出願

- (1) 入試の結果、不合格となった者であっても、令和 8 年度大学入学共通テストを受験すれば、一般選抜を受験することができます。なお、この場合は、入学検定料の納入が必要です。
- (2) 不合格となった者で、本学の一般選抜を受験する者は、一般の受験者と同様に、「令和 8 年度愛知教育大学一般選抜学生募集要項（令和 7 年 10 月中旬発表予定）」により出願手続をとってください。

## 18. 教育・学習データ利活用について

本学では、「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、日々の教育や学習に関するデータを取得し、そのデータを安全な方法で保持・分析を行い、客観的データに基づいて教育改善や学生等の学習支援を図るとともに、データ利活用から得られた成果を公開し、広く社会に還元することに取り組んでいます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報、入学後、教育・学習データとして取り扱います。

【参考】「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」  
<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/708.html>

## 19. 個人情報の取り扱いについて

- ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」等本学の関係規定に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- ② 本学では、出願時に提出された個人情報（住所・氏名・生年月日等）及び入学試験成績情報は、入学選抜に関する業務、入学後の奨学制度申請、修学支援業務及びこれらに付随する業務並びに「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」に基づくデータに利用します
- ③ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に合否及び入学手続等に関する情報を提供します。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」  
<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/82.html>

## 20. 入学試験個人成績の開示

本学では、帰国子女選抜の個人成績（総合点）を本人に限って開示します。出願時に成績開示を希望した者は、本学 Web サイトの「成績開示システム」から令和 8 年度入試の個人成績が閲覧できます。閲覧には「受験番号」及びインターネット出願登録時に発行される「セキュリティコード」が必要です。開示時期まで、忘れずに控えておいてください。また、入試課にて入学試験個人成績の開示は行っておりません。

(1) 請求方法

- ① インターネット出願登録サイトで出願登録をする際に、試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。開示を希望しない場合は「希望しない」に選択を変更してください。
- ② 「希望する」を選択した場合、1回の出願につき開示請求手数料 600 円が別途必要です。検定料と併せてお支払いください。なお、郵送及び出願後の請求は原則受け付けません。

(2) 開示の時期

令和 8 年 5 月 1 日から 6 月 30 日まで、本学 Web サイトの「成績開示システム」から、閲覧が可能となります。  
※開示期間が終了すると閲覧できなくなりますので、必要であれば、適宜成績開示画面を印刷してください。

## 21. 安全保障輸出管理について

愛知教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

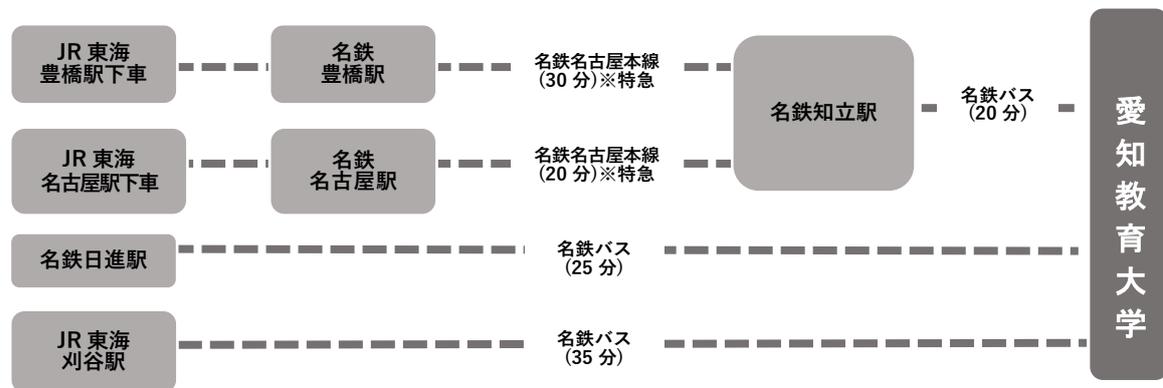
愛知教育大学規程集 <https://www.aue-kitei.jp/auekitei/index.html> より

第 10 章 研究連携・研究支援 > 国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

## ◆ 愛知教育大学へのアクセス

### ACCESS



- ・名鉄名古屋本線「知立駅」北口からバスで約 20 分「愛知教育大前」下車
- ・名鉄豊田線「日進駅」からバスで約 25 分「愛知教育大前」下車
- ・JR 東海道本線「刈谷駅」北口からバスで約 35 分「愛知教育大前」下車

※鉄道・バスの発着時刻等については、各交通機関の Web サイト等でご確認ください。

※本文内容等に変更が出た場合は、本学 Web サイトにて公表しますので、ご確認ください。

#### 問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 入試課

TEL 0566-26-2202 FAX 0566-26-2200

Mail nyushi-madoguchi@aecc.aichi-edu.ac.jp

Web サイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/>

※電話等によるお問い合わせは必ず志願者本人が行ってください。

#### 「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。